



なきごえ



1991

11

柴田 保彦



輸入商品が溢れるなかで、人の営みと動物の世界との係わり合いもまた、奇妙な展開をみせることがあります。仕事の中で垣間見た、そんな事件のいくつかをお話してみま

しょう。公にできない部分は伏せてあります。今日は両生類と爬虫類に限って。

エビとアマガエル

日本人はエビ好きで、世界の海からエビが輸入されます。現地で急速冷凍されたブロック状のエビが紙箱にパックされ、百貨店などの冷凍食品売場に積んであります。こんなエビを買って帰って、家庭で解凍してみると、エビに混じってカエルが出てきたという出来事がありました。びっくりした消費者が売場に抗議し、保健関係の役所の紹介で、輸入元の食品検査所から相談(鑑定)を受けました。

このエビは、南アメリカ北東部のギアナから日本に輸入された大西洋産のものでした。産地を勘案しつつ、エビに混じって出てきたカエルの死体を調べてみると、ぴったりの種類がみつかりました。オロリゴン・ルブラというアマガエル科のカエルです。日本のアマガエルと同じように、指の先端は広がって吸盤状になり、垂直面を登ることが出来ます。エビとこのカエルを結び付ける鍵は何でしょうか。現地の冷凍工場を調べないことには言えないにしても、こんな風景が浮かびませんか。

漁港に近い冷凍工場は、疎林と畑にかこまれて、建っている。夜ともなれば、界限は蛙のコーラスに包みこまれる。蛙の雄たちは活発に動き回り、産卵池からきこえてくる大コーラスに誘われて近道をとろうと、開いている工場の窓から入り込んでしまう。あるいはこんな事かもしれない。工場の外壁に面して点っている外灯には沢山の昆虫がむらがっている。それを食べるにアマガエルが集まり、時には建物の隙間から中へ入り込む。

こんなことが毎日にくりかえされて、ある時、エ

なきごえ11月号もくじ

動物と私 2
“アネハヅル、ペアで来園” 3
チンパンジーと教育 4・5
チンパンジー舎のリング日誌 6・7
動物園グラフ・動物園日記 8・9
ケンちゃんの好きやねん動物園 10
動物園ニュース 11

ビに混じり込んだのではないのでしょうか。

グリーンピースとヘビ

台所で缶詰をあけてみると、豆に混じって切断された小蛇の頭が現れるという事件がありました。持って来られた輸入元の担当者は、ニュージーランド産のグリーンピースに混じっていたと言われます。さて困った、蛇のいないニュージーランドで、どこの蛇が混じり込んだのだろう…。念のため、もう一度確かめてもらうと、グリーンピースはアメリカ産(合衆国だが場所は不明)とわかり、蛇の頭も北アメリカに広く分布するガーターズネーク(タイムフィス・シルタリス・ヘビ科)のものと判定がつかしました。豆と蛇は同じ産地のものと分ったので、担当者は満足して帰られましたが、アメリカの農場で何があったのか、謎は残ります。

洋服とヤモリ

某既製服会社は、中国南部の広東省某市にも縫製工場があり、製品を本州で販売しておられます。ある日、店頭へ出す前の服をチェックしたところ、ポケットからヤモリのミイラ状の死体が現れました。もし、中国産の種類なら、現地工場へ製品管理上の注意を促す必要があります。しかし、本州産のヤモリならこちらで入り込んだわけだし、両地域に居る種類なら迷宮入りです。種類を確認しないことには、うかつな事は言えません。担当者の依頼はそこにあります。顕微鏡でヤモリの特徴を丹念に調べたところ、オンナダケヤモリ(ゲヒラ・ムティラータ)とわかりました。人間の居住地に居るヤモリで、東アジアの熱帯に広く分布し、中国の広東省も分布域に含まれます。本州や九州にはいませんが、奄美大島以南の琉球列島には分布しています。縫製工程の一部を奄美や沖縄でしなかったかと聞いてみましたが、中国からの直送とのことで、問題は解決しました。

製品管理はともあれ、夜の縫製工場へヤモリが忍び込み、夜明けと共に洋服のポケットへ隠れるといった、のんびりした光景が目につく、いいなあ…と感心してしまいます。

流通機構の中へ、ふと迷い込んでしまう小動物たち。責任者は大困りでも、私には、その土地の自然と人間の生活の触れ合いを見てしまった!という面白さ、あれこれ考える楽しさが先に立ちます。こんな事さえ起こらなくなったら、それこそオシマイ。(大阪市立自然史博物館館長)

表紙の写真説明

“アムールトラ”

(Panthera tigris altaica)

アムール(黒竜江)流域の中国東北部、及びソビエト連邦東南部にかけて分布するトラの中では最大の種。現在、血統登録管理がなされ、繁殖推進種となっています。

(撮影:永田 健一)



“アネハヅル、ペアで来園”

9月14日(土)に大阪市の友好都市である上海市の上海動物園から動物交流として、アネハヅルがペアで来園しました。ツルの仲間では最も小型ですが、元気に暮らしています。

(撮影:赤松 建)

チンパンジーと教育

松沢哲郎

なきごえ27(11),1991

チンパンジーに「ことば」を教える研究をしてきた。京都大学霊長類研究所で、1978年に始まった、「アイ・プロジェクト」と名づけている研究である。研究の成果を、最近、一冊の本にまとめた。題して、「チンパンジーから見た世界」(東京大学出版会)。「ちんぱんじん」と呼びたくなるようなかれらのもつ認識の奥行きを、ぜひ多くの人に知っていただきたい。

主要な被験者であるアイというチンパンジーは、図形文字や漢字をおぼえた。アラビア数字で数を1から9まで表現できる。「賢い」チンパンジーがいて、鍵で錠前を開いたという話もあるなあ。そんなふうな記憶のある方も多いだろう。

「アイは賢いですね」とよく言われる。しかし、アイが特別に賢いということはない。アイができることは、基本的にはどのチンパンジーでもできる。しいて言えば、チンパンジーという生き物がきわめて賢いのである。「賢さ」とは何かという問いを通して、「教育」について考えてみた。

研究を始めた当時、アイ、アキラ、マリという3人のチンパンジーがいた。年齢はみな2歳半から3歳。最初の課題は、物の名まえを教えることだった。日常身のまわりにある物のなかから、8つを選び出した。手袋、錠前、くつ、コップ、ボウル、つみ木、ひも、紙。それぞれの物に対応した図形文字が決められた。チンパンジーには、タイプライターに似たキーボードが与えられており、そのキイの上に図形文字や漢字や数字が描かれている。わたしが手袋を見せたときには、「手袋」を表わす図形文字の描かれているキイを押せば正解。正解するとホロホロというチャイムがなる。まちがえるとブザーというブザーがなる。

さて、アイ、アキラ、マリの3人とも、まったく同じ訓練を受けた。8つの物の名まえをおぼえるまでに、アイは57日、アキラは83日、マリは104日か



チンパンジーのアイ

かった。ヒトに個人差があるように、チンパンジーにも個人差がある。しかし、個々の学習場面をもつ

とくわしく見てみると、賢さとはいったいなんなのかと思わずにはいられなかった。つまり、真相はこうなのだ。

この学習場面では、「修正法」という指導法を導入していたので、まちがえると、次の試行では、同じ問題が繰り返されるきまりになっていた。

アイは、ブザーとブザーがなると、次の試行では問題をよく見た。わたしが示す物を見つめる。キイボードのキイに描かれた図形文字もじっと見る。物と図形文字を何度も見くらべてから、同じまちがいを繰り返さないように、別のキイを押してみる。実験室の中では、どうふるまおうとチンパンジーの自由である。それなのにアイは、もって生まれた個性によって、自発的に問題を慎重に見返す。

アキラは、ブザーとブザーがなると、次の試行では、今まちがえたばかりの同じキイをもっと速く押



3つのアラビア数字を見て、6・7・8と順に選ぶ課題に取り組むアイ。見守っているのは、野生チンパンジーの研究で有名なジェーン・グドール博士。

してみる。あるいは、もっと強く押してみる。ゆっくりと見返したりなどしない。ブザーと、誤答を知らせているのに、へこたれるようすがない。良く言えば、ひじょうに打たれ強い。もっと速く、もっと強く、キイを押してみる。

マリは、ブザーと誤答を知らせるブザーがなると、もうそれだけで頭をかかえこんでしまう。まちがえたからといって、べつに叩かれたりどなられたりするわけではない。誤答だといわれることに耐えられないのだ。一言でいうと、ひじょうに打たれ弱い。次の試行がはじまっても、許しを乞うようにわたしの方に手をさしのべてくる。

3人とも、まったく同じ装置を使って、まったく同じ手続きで訓練した。それにもかかわらず、誤答のあとの態度が、三者三様の個性を示し、それによって見かけ上の賢さの違いが生じた。「劣等生」としてのラベルをはられたマリ。打たれ弱い彼女には、べつの指導法をとればよかった。まちがったときには、同じ問題を繰り返さずすぐ次に行く。あるいは、正答だけを繰り返し経験させるのも有効だったろう。学習のステップももっと小さくすればよかった。賞罰の効果は一様ではない。それぞれの個性にあった

なきごえ27(11),1991

与え方というものがある。

後日談をつけ加えておこう。「言語」習得実験から早々にドロップアウトしたマリは、隣の日本モンキーセンターにもらわれていった。マリはもともとひじょうにつきあいがかかった。今では、モンキーセンターの群れを率いるリーダーの役割をしている。マリは15歳。この3月初めに4人目のあさちゃんを産んだ。一方のアイは、「賢い」ばかりに、きょうもコンピューターの前に座って勉強を続けている。同じ歳のアイとマリ、何がしあわせかは、なかなかむずかしい問題だと思う。

チンパンジーのもつ「賢さ」は、かれらの住むアフリカの森で実際にどう生かされているのだろうか。野生チンパンジーの暮らしの中に、かれらの賢さと教育の姿を見てみよう。

昨年12月から本年2月にかけて、野生チンパンジーの石器使用の調査をしてきた。3年ぶり、3度目のアフリカである。西アフリカ、ギニア国の最奥の村ボソウの裏山に、20頭のチンパンジーが住んでいる。京都大学霊長類研究所の杉山幸丸さんが1976年に長期継続研究をはじめた。ここのチンパンジーたちは、親指の先ほどの大きさのアブラヤシの種の硬い殻を、一組の石をハンマーと台にして叩き割って、中の胚を食べることで知られている。

チンパンジーがアブラヤシの種を割る場所は、ヤシの木の野草が濃くて、割っているようすを直接に観察できない。そこで、かれらの住む小高い丘の山頂部に、「野外実験場」を設けた。ヤシの木の無いところに、ヤシの実とそれを割るための道具として石を置いておく。約25メートル離れたところに、草を立てかけたブラインドを作って、その陰からチンパンジーのようすを2台のビデオカメラで観察記録した。

実験場にほんの少しでもチンパンジーが現われたのは、調査期間のうちの21日間。石器使用を観察しビデオ記録した総合計時間1081分だった。重要な発見がいくつかあった。①チンパンジーには、それぞれ好みの石器がある。好んで座る場所もある。②ハンマーを持つ方の手、つまり利き手は、個体ごとにはっきり決まっていた。ただし右利きと左利きはほぼ同数である。③4歳ではじめて石器を使えるようになり、熟練するには9歳くらいまでかかる。④ある道具のための別の道具、つまり「メタ道具」の使用例が見つかった。主役は、カイというかなりのとしのおばあさん。ある日、カイを含めた8人が実験場にやってきた。カイは、台石の下に別の台石をかませるというくふうをした。こうすると台石の上面が水平に保たれてヤシの種を置くのにつごうがよい。この台石の下にかませたもうひとつの台石は、本来の台石の機能を向上させるために使った別の道具であり、「メタ道具」と呼べるものである。

チンパンジーは、いろいろな道具を使うことで知られている。棒などをシロアリの塚の穴にさし入れて、シロアリをそっと引きずり出してなめ取る。木の葉を、スプーンのように使って水を飲んだり、おしりを拭く紙として使う。こうした道具の使い方を、子どものチンパンジーは何をどのようにして学習するのだろうか。

アフリカのいたるところに、アブラヤシははえている。もちろん石もある。しかしアブラヤシの種を



石器使用のための野外実験場でヤシの実割りをするボソウの野生チンパンジー。フォア9歳。ハンマーを持つ手は個体ごとに決まっている。

石で叩き割って中の胚を食べるのは、西アフリカのボソウとその周辺の一部の地域のチンパンジーだけである。隣国のコートジボワールのチンパンジーは、石器を使って別の種類の種を叩き割るが、アブラヤシの種は割らない。東アフリカのタンザニアのチンパンジーは、そもそも堅果を石で叩き割ることが無い。何を食べるか。どのような道具を使うか。チンパンジーの食と道具の文化には、著しい地域差がある。

それぞれの地域で、チンパンジーの子どもは、親の姿を見て自分で学ぶことによって文化を体得していく。ボソウでいえば、親の割った種のなかから、親の手を払いのけて胚を横取りする。あるいは、親が割ろうとしている種を横取りして、自分で割ってみる。親の方からは何も教えない。たとえば、これがヒトならば、「ほら、これをおたべ」といって親が胚を取り出して子どもに与える。「これを割ってごらんよ」といって、中味のおいしい種を選んで与える。「この石を使ってごらん」と適当な石をみつけよう。「こうやって叩くのだよ」と手を添えて教える。しかし、チンパンジーの親は決して子どもに手をかさない。

子どもは、母親やほかのおとながひとしきり割り終ったあと、その同じ道具を使って自分でやってみる。チンパンジーは、5歳ころまで母親と常に一緒に暮らしている。乳幼児期がヒトに劣らず長い。その間、親や兄や姉やまわりのおとなが、あらゆる行動の手本になっている。子どもは、日々の親の姿を見守りながら育つのである。(京都大学霊長類研究所助教授)

昨年8月1日よりチンパンジー舎の担当になりました。まさかの類人猿との出会いに「怖いノ」だけの前半、「うるさい!!ワガママ。」の後半でした。が気がつくと彼らも自分もいつの間にか落ちついていました。というハラハラ、ドキドキと汗びっしょりの一年でした。そんな日々の一場面を、当園の群飼育スタートの鍵をにぎるアップル(メス・9才)を中心に書いてみました。

§ 予定日

発情・生理・交配・出産予定日と予定日にも様々ありますが、さみしい搬出の予定日もあります。チンパンジー担当になって、まだ一年ですが、数例の搬出がありました。そのうちの頭で27年間当園で飼育され、私とは6ヶ月のつき合いです。メスの個体ですが、今も心に残っています。

ちょっとした事のストレスからか、障害をもつチンパンジーになり、情緒の不安定さ社会性の乏しさで「常同行動」の見られる個体でした。

「常同行動」とは、単純で自己閉鎖的行動の繰り返して単独飼育の独りぼっちな寂しい環境下で、子ザルが生み出した行動様式で、大人になっても尾を引くそうです。この個体は、時に不安を示したりしましたが、安定した日は、新人の私にすら声をかけたり、おあいそでも柵越した体をすり寄せたりし、今思えば本当に優しい個体だったのかもしれない。

1月28日に搬出予定日が決まりました。それに伴い鎮静剤の与え方、搬出方法等具体的なことが決まってきました。救いと言えば、こんな彼女を搬出先の園では「特にこの個体を」と望まれ、明るい展望の下に多くの仲間が待つ所へ行くことでした。

理由はともかく予定日にこの優しい「独りぼっち」の功労者を投棄により眠らせ、ある意味で裏切り、決定の日としたのは私自身なのですが…。

今思えば、この6ヶ月で彼女には目に見えない何か大きな事を教わった気がします。



石器を使ってマカデミアナッツを割るアップル

3月27日に多摩動物公園より、アップルが当園にやって来ました。多摩のチンパンジー村といえば群飼育では有名な村(?)ですが、この20頭以上もの群

で生まれ育った元気者のアップルもこの予定日だけは大変辛い出来事だったのでしょうか。オリ越しに見る彼女は、引っ越しのストレスからか、まる一日声も出ませんでした。そんなアップルに当園のリッキー・ミナミとの同居という大きな予定日を迎えさせないといけないかと思うと気持ちは複雑でした。

§ 遊べチンパンジー

アップルには、群れのルールや道具使いの先生役とリッキー(オス8才)のお嫁さんとして、またミナミ(メス7才)のメスとしての先生役と大忙しの日々が待っていました。同居は思った以上にうまく、スムーズにいきました。

しかし、ルールを自然と身につけたアップルにとって当園の2頭はあまりに無知で、しかもルール無用の遊び猿だったのです。それもそのはずで、この2頭は人工哺育の個体で、群れのこと、それぞれがチンパンジーの生活など理解できるはずありません。

ミナミは、先に書いた「常同行動」ではないかと思える行動を時々見せていました。初めアップルもこの行動にじっと見入っていたり、不用意に近づきケンカになったりと打ち解けるのに時間がかかりました。あいさつ行動やグルーミングができないこと



みんなの目を盗んで石器を使うアップル

にアップルはとまどい、頭をかかえ部屋の隅でじっとしてしまふこともよく見られました。

しかし、アップルのストレス解消にと作った人工アリ塚や石器が3頭の初めての社会生活を送る引き金となり、それなりのルールらしきものが生まれてきました。その後に遊具として入れた古タイヤも利用度が高く、生活用具として取り入れられました。これらの道具や遊具は、アップルが主に使いこなしました。中でも石器を使ってマカデミアナッツを割れるのはアップルだけです。他の2頭は地面でこすったり、口で割ろうとゴリゴリ歯でかじったりしますが、硬くてすぐに投げたり、転がしたり、原始的な遊びで終わります。一方アップルは他2頭にナッツをとられない様にうまく隠し、石器に近づくと目にもとまらぬ早業で、カチッ、ホリッと割るのです。音と口の動きで2頭が気づいた時には、そこにはナ

ッツの殻だけが現場に残っています。ミナミはどうして割れたのか理解できず石器上の犯行現場をじっと見入ったり、鼻をこする様に臭いをかいだりするばかりです。リッキーは性格上割り方より割れた中味が食べただけで、アップルの口を手でひねったり、威嚇をしたりとルール無用の荒ワザを出します。近頃ミナミは、自分でやってみようとハンマーを手にかかると多く、アップルが利用させてもらえないこともよくありました。

ふと気がついてみると「常同行動」と思われた行動が見られなくなっていました。何か一つのことでも引き金となり、仲間と遊んだり、少しのルールとモラルができた上でのケンカ、追いかかけ合い等リッキー・ミナミ2頭の力関係だけの時に比べて大きく変化したようです。そんな3頭の行動に合わせ、こちらも十分に遊べるよう三日に一度はタイヤのレイアウトを変えたりしています。またワラや乾草等を使って遊具に変化をつけることもあります。

この頃から、入園客に対し糞投げや砂投げ、気を引くための一定のつき歩きがなくなってきました。もう一つには日曜日に入園者を無視し3頭で遊んだりグルーミングをしている場面も見られるようになったことです。

アップルの行動は、他個体に行動を見せて教えるだけでなく、うまく機嫌をとって誘ったり、ケンカでリッキーにいじめられたミナミを肩を抱いて慰めたり、遊びに手を引っぱって積極的に参加をうながしたりするという群れで育ったチンパンジーや他の猿が仲間と遊ぶ社会行動のあらわれで、単なる先生の指導者ではなく、「セラピストザル」と言われる治療者というべき行動だと思えます。

群で育った者が自然と社会生活を行うというのは



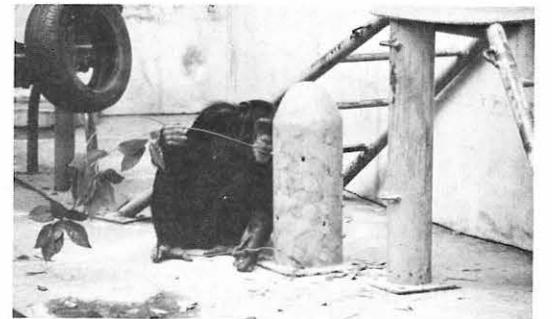
当園のチンパンジー村
左からミナミ♀・アップル♀・リッキー♂

大切なことです。今後ともアップルの指導的治療を期待しています。そのためにも、もっと楽しい遊具とレイアウトを考え変化を楽しませてやりたいと思います。できれば入園者を無視するほどに楽しく遊んでほしいものです。

§ 一本で35倍楽しむ方法

アップルが入園して半年がたとうとしています。天王寺動物園のチンパンジー舎にも新たな文明が根付いています。その一つは人工アリ塚です。鉄製の円筒の中に果汁等を入れたバットを入れ、外に開けられた穴から棒を差し込み、ジュースを飲ませるもの、もう一つは石器です。どちらも利用はしますが特に人工アリ塚は、それぞれが手軽に楽しめることもあり、今ももっともトレンドイヤーな遊びとして人気を集めています。

果汁100%ジュースとハチミツ水を二段に分けて入れ、チンパンジーに木の枝を与えると、まづアップルがアリ塚前に右45度にかまえて座り、棒を差し込みます。腕を大きくスライドさせる様に動かす枝の



上手にアリ釣りをするアップル

中央から先に向け、口で受けるようナメ取ります。そして、時々枝先をしがむようにして筆状になるまで加工し続けています。他の2頭はと言うと、ミナミは最近同じように棒を入れ、動作はスローながら何とかジュースをなめています。かなり練習したのですが、先がまだ加工できません。一方リッキーは何と棒を使わずにジュワーとアリ塚下部の水ぬき穴からしみ出るアップルのおこぼれをすすっています。かなりの意け者の要領の良さをみせています。

ところで同じような動作で棒を使うアップルとミナミですが、使用後の棒を回収し、どれほどのジュースを一回で飲めるのでしょうか。しみ込む量を計ってみて驚きました。ミナミの無加工の棒で約0.1cc。アップルの筆状加工棒では約3.5~5ccも一度に飲んでいました。棒の加工技術とスピードでは、他を寄せつけずにビギナーのミナミ、問題外のリッキーはアップルに言わせると「10年早いノ修業が足りんノ」といった所でしょう。今日も人気のアリ塚周辺では、アップルの神ワザが、さっそうと行なわれています。1本で35倍…。

チンパンジー舎に来られた方は、まだまだ関西では少ないチンパンジー達の文明を一度じっくり観察して下さい。

(飼育課:仲谷 登)

動物園グラフ

エサ

動物には正確に計った量のエサを与えています。でもお客さんがお菓子などを与えると毎日の努力も水のアワです。動物達には絶対に食べ物を与えないで下さいね。



オランウータン(オス) 1日で800グラム

“はかる……いろいろ”

動物園では、動物や飼料などいろいろと計り、それを記録・整理し保存しています。

そんな“はかる”を少し紹介してみましょう。

(撮影：早川 篤)

○体重 その1

健康状態を知るのに役立ちます。しかし人間のように体重計にスッとのってくれない動物が多いのです。コアラは次のようにして測ります。



コアラ+人間



人間



コアラ (キリ：3才 7.55kg)

9月の動物園日記

- 9 / 1. 八尾市文化会館で開催された大阪動物フェスティバルで、動物写真のパネル展示をしました。
- 9 / 2. アカハシリウキウガモが1羽孵化しました。
- 9 / 4. タヌキの保護がありました。日光浴のためカモシカ園に展示していた大きなアルダブラゾウガメを爬虫舎にもどし、ヒョウモンガメ2頭と小さいアルダブラゾウガメ2頭も展示しました。
- 9 / 6. ガビチョウの雛が2羽巣立ちしました。

- タヌキの保護がありました。
- 9 / 11. チンパンジーの“アップル”に駆虫薬を飲ませました。
- 9 / 14. 上海動物園から第8次動物交流のヨウスコウワニ2頭とアネハヅル2羽が到着しました。(贈呈式は10月3日に行われました。)
- 9 / 15. 敬老の日になみ天王寺動物園の長年飼育動物であるアジアゾウの“春子”に好物のリンゴをプレゼントしました。第77回“動物のお話とスライドの会”で森本獣医が動物園のお医者さんのお話をしました。
- 9 / 22. 神戸市立王子動物園に来園したコアラに同

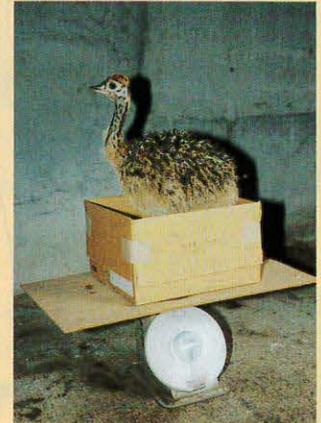
○体重 その2

ふ卵機に入れる卵も全て重さを計ります。



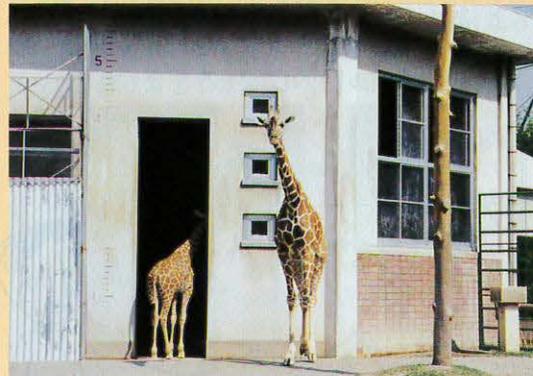
(このダチョウの卵 1700グラム)

ふ化したヒナも毎日体重を計ります。この記録は健康チェックとともに、今後のダチョウ飼育に役立つように資料として保存されます。(生後1日令 11グラム)



○キリンの背の高さはどれ位?

キリンは背が高いとかゾウさんは大きいと言うけど一体何メートルあるのでしょうか? そんな質問に答えるためにゾウ・キリン舎には目盛が書かれています。皆さんも自分の目で計ってみてください。



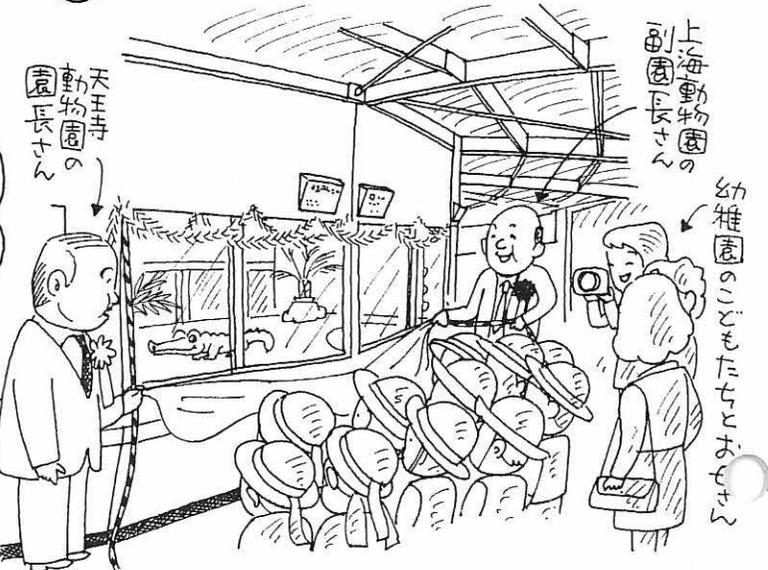
- 9 / 23. 大阪動物愛護会の主催で動物総合感謝祭が動物慰霊碑前で行われ、動物代表として今年生まれのハワイガンが出席しました。また、7月に募集した動物愛護の標語の入選者の表彰式を行いました。
- 9 / 25. サンディエゴ・ワイルドアニマルパークから寄贈されたココテの番が来園しました。7月に来園したキーウイの雌“ブクヌイ”雄の“キオト”と試験的に同居させ、夜間観察をしました。(9月27日まで)

- 9 / 26. 本日よりレッサーパンダを屋外に展示し始めました。
- 9 / 27. シンガポールのジュロン・バードパークとの動物交換でヒクイドリ1番とサイチョウの雌が来園しました。
- 9 / 29. アカダイショウが4匹孵化しました。
- 9 / 30. ガビチョウが孵化しました。9月25日に来園したココテを報道陣に公開しました。

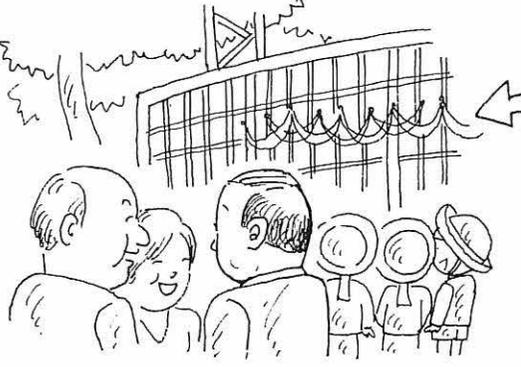
ケンちゃんの 好きやねん動物園 まんが 松葉健

秋晴れの10月3日
中国の上海動物園からきた
ヨスコウワニとアネハヅルの歓迎
迎会がありました。爬虫類舎では
除幕式が行われ、まだ体の小さい
ヨスコウワニが紹介されました。

全長2メートル
ぐらいになる
そうです



除幕式のあと、アネハヅルのいると
ころへ行って、元気な姿をみました。
上海からこられた副園長さんも安心され
たことと思います。全長90cm—1mほどの
最も小さいツルだとききました。



ついでに新しく
外国からきた他の
動物を紹介して
あげようね

9月に
米国サン
ディエゴ
の野生動物園
からきました
よしく

オーストラリアの
カウチン

オーストラリアの
カウチン

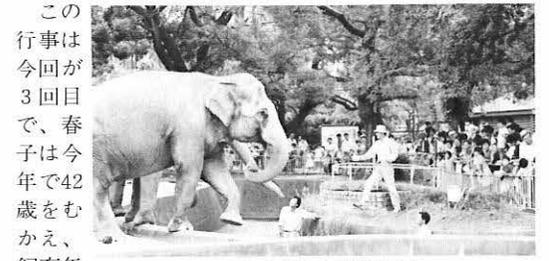
オーストラリアの
カウチン



動物園ニュース

§ 敬老の日にちなみゾウの春子にリンゴのプレゼント

9月15日、当園で最長の飼育動物であるアジアゾウの「春子」に今後も長生きしてもらうようにと、好物のリンゴ約100個(約20kg)をプレゼントしました。



来園者から飼育係員に手渡されたリンゴをもらうアジアゾウの春子

この行事は今回が3回目、春子は今年で42歳をむかえ、飼育年数は41年5ヵ月になりました。飼育年数が春子に続く動物は、同じアジアゾウで、2ヵ月遅れで来園した「ユリ子」(41歳)で、41年3ヵ月。次の3位は、チンパンジーの「シュジャー」(42歳)で、40年3ヵ月です。なお3頭とも性別は♀です。

§ 動物総合感謝祭

9月23日、動物愛護週間(9月20日から26日まで)にちなみ、恒例の動物総合感謝祭が大阪動物愛護会の主催でとり行われました。当園の動物慰霊碑前には、社団法人大阪動物愛護会名誉会長の中川春江府知事夫人、同副会長の西尾照子市長夫人をはじめとする多くの来賓の方々が出席され、また動物代表として

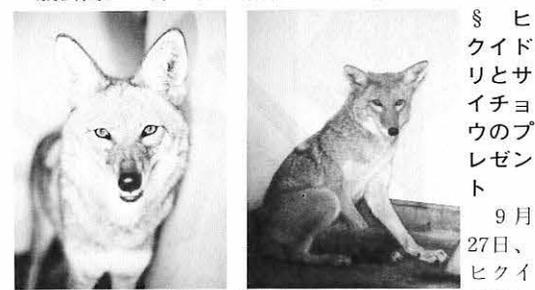


飼育係員に抱かれて玉串奉奠するハワイガン

§ コヨテのプレゼント

9月25日、米国サンディエゴワイルドアニマルパークからコヨテ1ペアを贈っていただきました。当園では昭和50年にサンディエゴ動物園からいただいたコヨテ1ペアを展示していましたが、ともに高齢で昨年オスが死亡し、メスも体調が思わしくないため、現在は寝室で飼育しています。コヨテは日本ではわずか3園しか飼育してないので今回の若いペアで何とか繁殖させたいと考えています。

来園したペアは共に1才位で野生の亜成獣です。一般公開は10月1日から始まります。



来園したコヨテ。右がメス、左がオス。

来園したコヨテ。右がメス、左がオス。ペアとサイチョウのメス1羽が、シンガポール・ジュロンバードパークから親善動物交換で当園に贈られて来ました。



これは、昨年花の万博終了時に、シンガポール政府館で展示していた、オシドリなど6種14羽の鳥を、ジュロンバードパークから当園にプレゼントされたのを機会に両園間で動物交流の話し合いがもたれ、今回の動物交換となったものです。

サイチョウのメスとヒクイドリのペア。なお、当園からはタンチョウのオス1羽とベニジュケイのメス2羽を、間もなく贈る予定になっています。

● お知らせ

- 動物のお話とスライドの会
 - 11月17日(日) トラのガイド
 - 12月15日(日) 動物園裏側ウォッチング
 - 1月20日(日) サルのお話
- 時間：午後1時～2時
- 場所：ガイドは獣舎前。ウォッチングはレクチャールーム集合。お話はレクチャールーム。

● テレフォンサービス実施中

催し物、トピックスなど魅力たっぷりの動物園の案内を、24時間テレフォンサービスで行っていますので、ぜひご利用ください。
電話番号 771-9999

* 休園日のお知らせ *

動物園の休園日は毎週月曜日(休日の場合は翌日)です。
開園時間は午前9時30分から午後5時までで、午後4時まで入園できます。

現在の飼育動物数
(平成3年9月30日現在)

| | | | |
|-----|-----|------|-------|
| 哺乳類 | 12目 | 94種 | 446点 |
| 鳥類 | 20目 | 171種 | 845点 |
| 爬虫類 | 3目 | 30種 | 91点 |
| 合計 | 35目 | 295種 | 1382点 |

愛ある暮らし、応援します。

Kintetsu

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



生態・飼育・図鑑が一つの本の 中にギッシリ

中川道朗・岩合徳光/監修
B5変型判・オールカラー
定価580円

動物園で暮らす様々な生き物達、
自然の中ではどんな暮らしをして
いるのか？ 動物園での世話
の仕方は？ 仲間はず？ など、
写真と精密イラストをまじえ紹
介します。

くらしとかいかたシリーズ<既刊本>
B5変型判・オールカラー・各定価580円

むしくらしとかいかた

野山でみかける身近な昆虫たち
250種を紹介。

ちいさないきものくらしとかいかた

昆虫以外の小さな生き物を320
種紹介。

お求めは、お近くの書店で。 ひかりのくに株式会社 本社/〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表

室内装飾設計施工・バラエティ雑貨卸

1st ファースト商会

〒559 大阪市住之江区平林南1丁目2番57号
ヘッドビル202号
TEL 06-686-4033 FAX 06-686-4032

オートフォーカスカメラに

フジカラー SUPER HG 400

ピントが合いやすいフィルムです



カラの大林

桜橋本店 ☎341-8091
阪急三番街店 ☎372-5031
OHVAC店
(ギャレ大阪) ☎346-7606

全国の愛犬家の共感を呼ぶ無比の愛犬歌集

絶賛四版

歌集 犬の歌

平岩米吉著

著者が、約四十年の間に、共に暮らした七十余頭の犬の生と死
を歌った四百十九首を収録。同時に、その誕生より老齢に至る
写真四十七図を収めた、犬の一生の生態写真集でもある。

天金・美装箱入
B6判・270頁
3000円・〒不要

《感動の言葉》

- ☆ この歌は愛犬と異体同心の境地である。(英文学者)
- ☆ 人として注ぎ得る愛情の極致を示している。(動物研究者)
- ☆ 一首ごとに、ことごとく魂にひびく歌です。(動物愛護家)

●本書は、書店ではお買い
求めになれません。
直接当会へお申し込みく
ださい。

〒152/東京都目黒区自由が丘3-12-2 動物文学会 電話(03)717-1659/振替・東京5-9800

新作
貸出用ビデオ「楽しい天王寺動物園」
19分(10本常備)

天王寺動物園の本

入園の記念・手引に……

- 対象/保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し郵送料480円は必要)
- 申込先/当協会まで手紙かハガキで
お申込下さい。

コアラテレホンカード(限定販売)
好評発売中 ¥800(50度用)

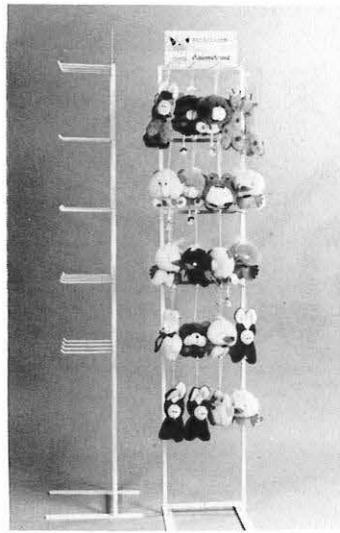
オールカラー

500円



園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会 〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

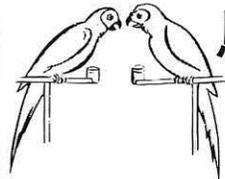


動物ぬいぐるみは 子供のゆかいなお友達

各種ぬいぐるみ企画・製造・卸

有限会社 **アニメランド**

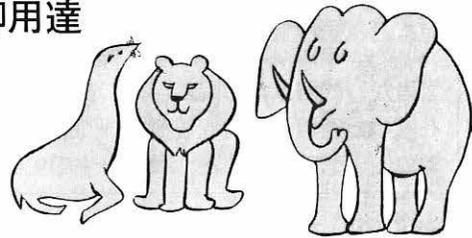
〒547 大阪市平野区西脇4丁目5番22号
TEL: (06)704-8580
FAX: (06)704-8565



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円

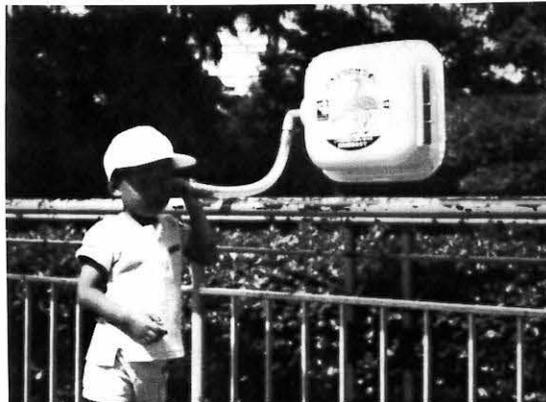


有限会社 **吉川商会**

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数カ所にあります

関西特機株式会社
電話 06-762-2333
1回 20円

動物園内での お食事、ご休憩は

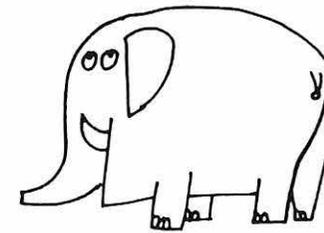
大阪市天王寺動物園内

中央売店

☎(06)771-0973



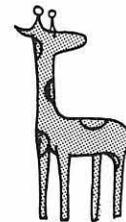
天王寺動物園内



南園売店

大阪市天王寺区茶白山町6-74
電話(06)771-7110番

園内での写真は… 動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



◎随時係員が待機して
おりますのでご説明
に伺いました際は、
よろしくお願い致し
ます。

カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせていただきます。
撮影予約も受付しておりますのでご連絡下さい。

国際航空写真株式会社
TEL 06-856-7444

唯ちゃんも、
とってもゼリーも、
ますます成長しました。



浅香 唯

フルーツゼリー
とってもゼリー



一日
愉快地
たのしめる!!



◎園内3ヶ所(南園高架下・北園中央デッキ北側・北園高架下)に各種のりものがあります。

久竹娛樂株式会社
TEL(06)541-3938(代)

なきごえ 1991年11月10日発行(毎月10日発行)第27巻 第11号 (通巻315号)

編集 / 大阪市天王寺動物園事務所

発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 土井良彦

印刷所 / 株式会社 松村善進堂 定価150円(送料共) 1年継続(12部) 1,650円(送料共) 振替口座 大阪3-3 7 8 2 3

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74

電話 大阪 (06) 7 7 1 - 0 2 0 1

編集委員 (中山良三郎 / 村上 昭 / 中尾啓一 / 樽本 勲 / 中川哲男 / 吉本昌俊 / 山根和弘 / 大谷直樹 / 宮下 実 / 長瀬健二郎 / 榊原安昭)
森本委利 / 竹田正人 / 永田健一 / 大野尊信 / 野口秀高 / 早川 篤 / 赤松 健 / 中垣圭史 / 大川光雄 / 土谷正道 /